

○平成30年度第1回つくばみらい市総合教育会議

- 1 日時 平成31年2月28日(木) 午後1時30分から
- 2 場所 つくばみらい市役所伊奈庁舎 3階 大会議室
- 3 出席委員 つくばみらい市長 小田川 浩
 教育長職務代理者 中島 正志
 委員 久下 伸子
 委員 八島 秀仁
 委員 高橋 秀光
 教育長 福田 敏男
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 教育部長 吉田 弘之
 学校教育課長 飯泉 勝宏
 生涯学習課長 直井 和美
 学校教育課課長補佐 直井 仁志
 学校教育課課長補佐 鈴木 富夫
 教育指導室指導室長 長塚 和徳
 生涯学習課課長補佐 千葉 裕康
 スポーツ推進室室長 関 正臣
 学校教育課主査 坂本 和生
 学校教育課主幹 尾林 大悟
- 6 傍聴人 なし
- 7 協議・調整事項 (1) つくばみらい市教育大綱について
- 8 議事

事務局 市長	【平成30年度第1回つくばみらい市総合教育会議開会宣言】 【あいさつ】
事務局 市長	(1) つくばみらい市教育大綱について 【事務局よりつくばみらい市教育大綱について説明】
教育長 委員	結論から言うと、教育大綱を新たに作り直さなければならないという事は考えておりません。私はそれよりも教育行政を預かるうえで施策をどのように展開していくかが私たちに課せられている命題であると思っております。多様性に対応する現場の教職員の負担を考え、行政側が補える部分はまだまだあると思うので、教育長、教育委員の皆様の意見を伺いながら対応していきたいと思っております。新しいアイデアを出し、つくばみらい市の教育が県内、全国に誇れるようなものになればと思っております。
	【委員からの質疑応答及び意見等】 来年度はALTが4人増となるため、中学校1校への2名同時派遣や、幼稚園への派遣も可能となり、成果が出てくることを期待しております。教育大綱について、市の独自性を持つべきであると思っております。英語教育

	<p>の強化や市の歴史教育に加え、多様性への対応も重要になってくると思います。多様性への対応という事で、中学生の女子の制服について、スカートでなくても登校できるような対応が必要なのではないのでしょうか。また、教育大綱や教育振興基本計画の期間が全て平成で表記されておりますが、その対応も考えていければと思います。</p>
<p>市長 教育長 委員 市長</p>	<p>制服について、事務局から対応について何か説明はいただけますか。考えてはおりませんでした。昔、伊奈中学校生はズボンでした。市として、両方選べるような対応を取っている所もあります。何故中学校によってブレザーと学生服（学ラン・セーラー服）の違いがあるのか。</p>
<p>事務局 委員</p>	<p>小絹中学校創立時に制服を見直し、小絹・谷和原中学校については学生服からブレザーに変更されたと記憶しております。女子のセーラー服は、上下分かれているのでしょうか。</p>
<p>事務局 委員</p>	<p>分かれています。それであれば、下にズボンを履く対応を取ることも可能であると考えます。</p>
<p>事務局 教育長 委員</p>	<p>学校の制服に関しては、校則で定められていることなので、教育委員会があまり介入できないかと思えます。多様性という事であれば、男性・女性・障がい者・子どもなど誰でも使えるトイレについて、水戸市で取組が行われている。つくばみらい市も検討しなければならないということも出てくるかと思えます。また、男子・女子ということについては、必要が無ければ聞かない等、発想を変えていく必要があると思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>基本項目1のところ、小中一貫教育の評価ということがありますが、近隣の市町村では先進的に義務教育学校という形で実施している所もあるかと思えます。それを含め、その先進例などを検証し、我々の地域でどのように対応できるかという事も検討しなければならないと思えます。また、小学校は小学校、中学校は中学校として独立し、連携を密に取るという対応方法もあります。合わせて、茨城県内で中高の連携を図っている所もあります。市内には伊奈高校があるので、どういう関わりを持って行くか探っていくことも、政策の中で考えていく必要があると考えます。</p>
<p>市長 事務局</p>	<p>小中一貫と言えば、つくば市が一貫校を設置していますが、何か情報は入っていますか。小中学校が一緒になっている義務教育学校がたくさんつくられておりますが、始まって数年しか経っていないので、本当に良いものかどうか正式な検証結果というものはまだ出ていないというのが現状です。教職員について、原則小中学校両方の免許を持つ教員を集めなければならないので、教職員集めにおいて苦労があるとのこと。</p>

市長	「小中一貫教育」と「小中一貫校」を混同している方がおり、学校が分かれている為、小中一貫教育が進んでいないとの声をよく聞きます。小中一貫教育と小中一貫校は別のものであると明確にしないと分かり辛いのかもしいないと思います。
委員	小絹地区では、小絹小の児童がそのまま小絹中へ行くという状況になっております。保護者からは、他の学校の子供たちと混ざらないことにより、仮に悪い人間関係があった場合、それがそのまま中学校へ続いてしまう心配があるという意見を聞きます。義務教育学校においても同じようなことが起きる可能性が有ります。別々の学校から子供たちが集まることにより新しい関係が生まれるということも大事なことで考えます。本市において小中一貫教育をどのように展開していくか、そういった功罪も含めて検証していく必要があると考えます。
教育長	小中一貫教育がスタートした背景には、中1ギャップによるいじめや不登校を防ぐというものがあります。いい部分と悪い部分が出てきていると思います。
委員	悪い人間関係を断ちたいという子どもが私立中学校に行くケースもあるようです。
委員	小中一貫教育は、教職員にとって負担が出るかもしれませんが、子供たちにとってはとても有効です。もちろん、教職員が疲弊してしまうほどやっちゃってはいけませんが、つくばみらい市は内容的には良くやっているといます。最近では幼保小、幼児教育と小学校の連携が重要になってきています。公立幼稚園・保育所との連携はこれまでもありましたが、今後は私立幼稚園・保育所との連携もやっつけていかなければならないと考えます。また、虐待・いじめ・不登校、心の問題については学校だけでなく家庭・地域・関係機関の協力が必要だと考えます。
教育長	昔は文化が違い、教職員の意識として小学校と中学校の区別が明確でした。しかし、現在は9か年を見据えた指導ができるようになり、変化が見られます。これは一つの成果であると思います。
委員	基本目標3の、学校の適正規模・適正配置の推進について、喫緊の課題となっておりますが、学区の改変ということも必要になってくるのではないのでしょうか。
市長 事務局	現状、適正配置はどこまで進んでいるのかお示しいただけますか。 現在、第3回まで審議会が終了しております。第1回では、全体的な市の課題の情報共有、複式学級の解消について説明しました。第2回では複式学級を早急に解消すべきだという検討結果をいただきました。また、中学校の適正配置はどのようなものが良いかという検討を、第2回と第3回で検討しております。中学校については結論が出ていないので、4月の第4回審議会では小学校の適正配置と合わせて議題にする予定です。東小学校と三島小学校については、複式学級が発生している為、

委員	平成32年4月の統合に向けて計画の作成を進めております。
委員	みらい平の方の様子はどうか。人口が大きく増えていますが、教育現場では混乱が生じてくるのではないかと思います。その辺りを、将来を見据えてどのように対応していくか、学区の再編も含めて検討の要件になると思います。
委員	いじめの件で言えば、野田市の事件について、反省点が数多く出ておりますが、野田市がどう改善していくかを注視し、教育会全体で反省の共有が必要であると考えます。また、いじめへの対応について、本市ではどういった方向性を持って行くのかという事についても、ここに書かれている言葉だけでなく、内容的な充実も図っていくべきなのかと考えています。さらに、幼稚園について、今一つ将来の方向性が見えていないと思います。通学する者の中で一番幼い幼稚園児という弱者に対する優しさが欠落してしまっているのではないかと思います。
事務局	いじめ対応に関して、各学校で月に1度、生活アンケートを実施しております。その中で、いじめなどがないか調査をしております。しかし、実際には書けない生徒もおりますので、先生方に目を光らせていただいております。虐待について、警察の方より、少年非行よりも虐待の方が多いという話を伺っております。本市でも虐待事案は発生しておりますが、学校から教育指導室又はこども福祉課へ連絡が入り、すぐに対応する体制を整えております。また、常総警察署、土浦の児童相談所は対応が早いので、野田市のような事例は本市では発生しにくいと考えます。加えて、2月18日、虐待が疑われる場合の対応について、各保護者へ通知を送付するといった対応をしております。
事務局	わかくさ・すみれ幼稚園については、改修する方向で、現在設計などを行っております。今後の方向性という事については、適正配置審議会の中で議論していきます。
事務局	私立幼稚園で受け入れられない子供を公立が受け入れるということも考えております。
市長	時間もありますので、意見についてまとめに入りたいと思います。教育大綱及び教育振興基本計画について、既存のものを変えずに進めて参ります。
市長	その他について、委員の方から意見はございますか。無いようでしたら、事務局にお戻しいたします。
事務局	【平成30年度第1回つくばみらい市総合教育会議閉会宣言】

上記決議を明確にするため、本議事録を作成する。

平成31年2月28日

市長 小田川 浩
教育長 福田 敏男